

世代間交流で地域も人も活性化！

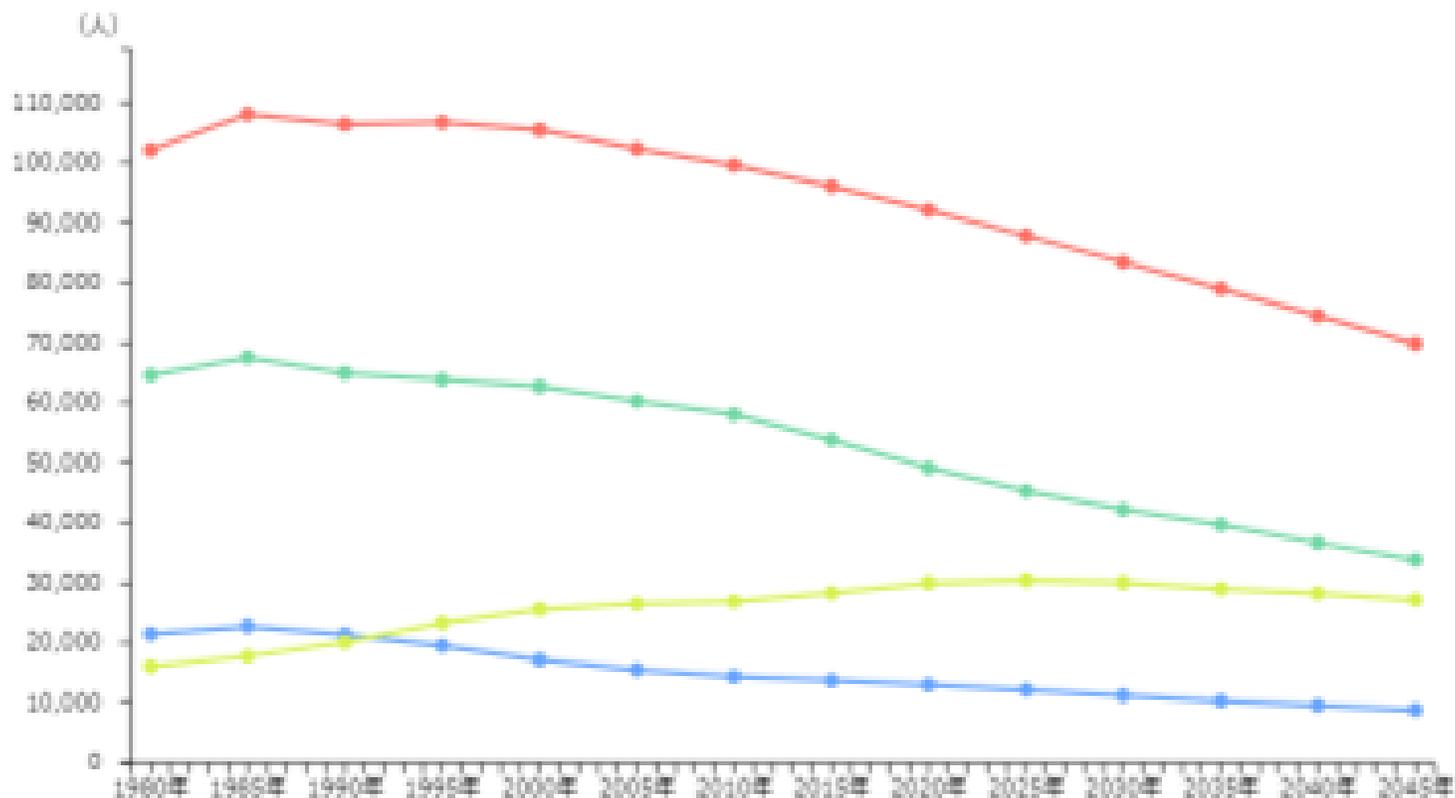
高浜 菜々



人口推移

鹿児島県薩摩川内市

● 総人口 ● 年少人口 ● 生産年齢人口 ● 老年人口



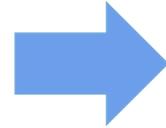
老年人口は
増えている！

実績値 推計値



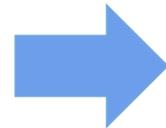
薩摩川内市の高齢者について

高齢者65歳以上人口



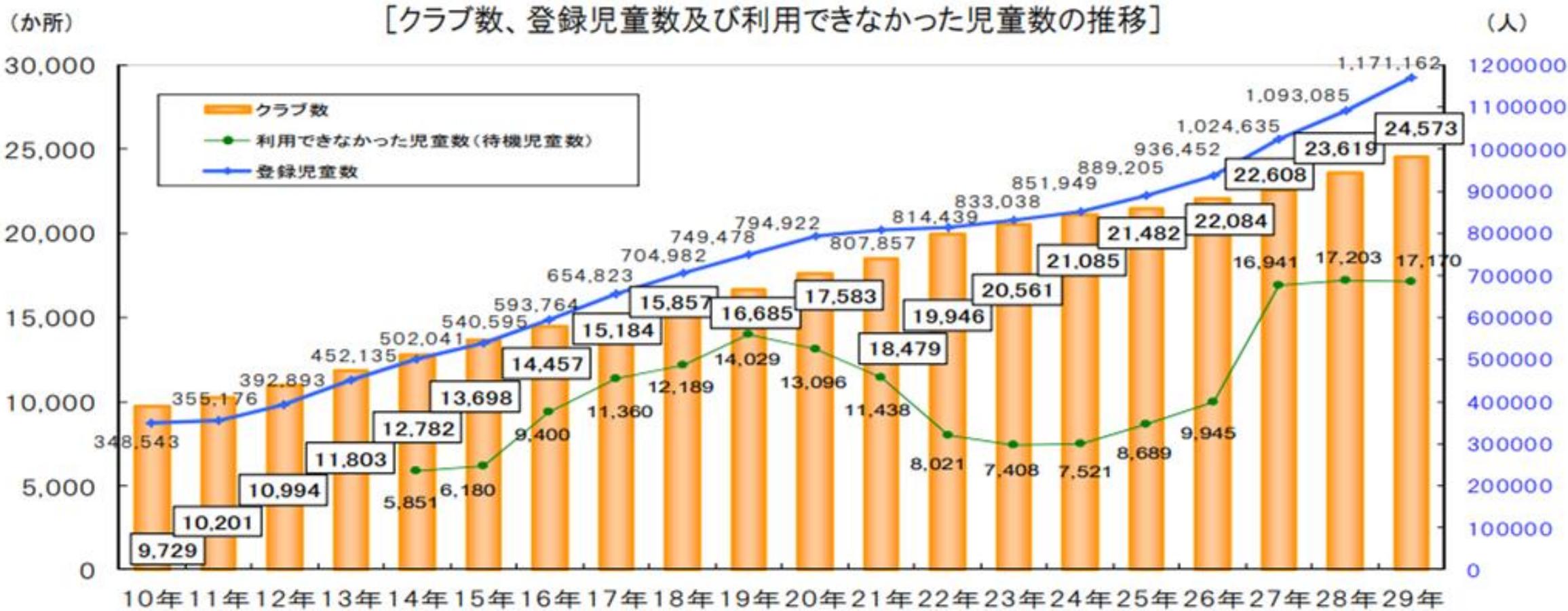
28,303人

一人暮らし65歳以上人口
(単身世帯で暮らす者)



6,456人

鹿児島市、霧島市、鹿屋市
に続いて4番目に多い!



※各年5月1日現在(総務課少子化総合対策室調)
 (平成29年8月11日以降保育課(子育て支援課)健全育成推進室)

学童児童の利用人数とともに
 利用できなかった児童数も
 増加傾向にある！



薩摩川内市の児童クラブの現状

・ 児童クラブ数 → 17

・ 児童クラブ数 児童（人）

平成22年度 530

平成23年度 581

平成24年度 621

平成25年度 715



年々増加している！

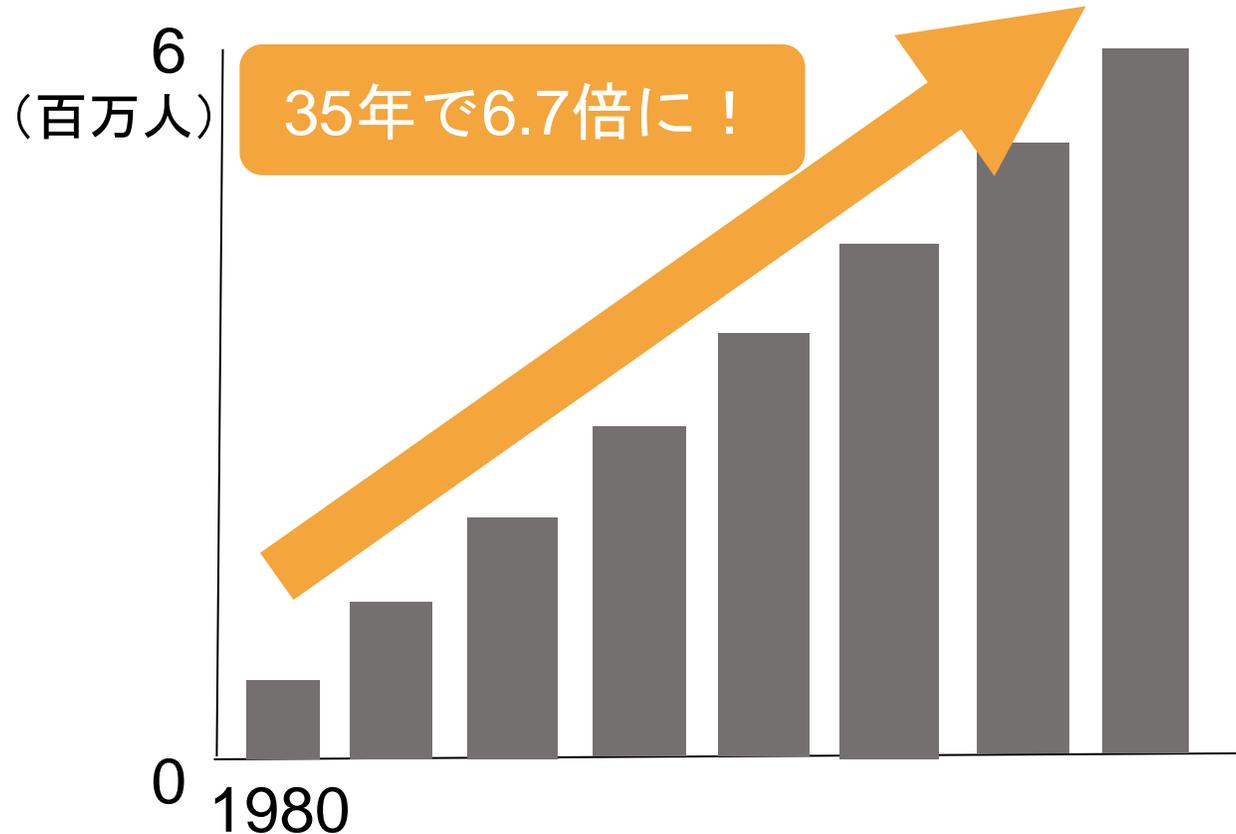
薩摩川内市の問題点

①高齢者の増加

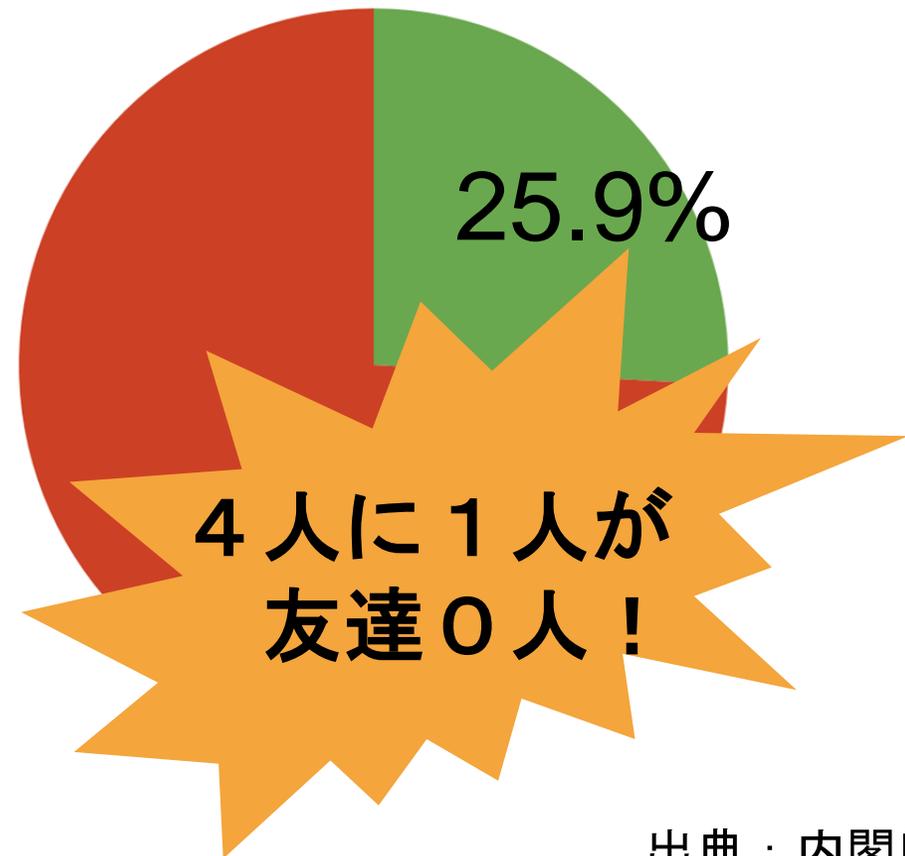
②学童児童数・待機児童数の増加

① 高齢者の増加

高齢者（65歳以上）の一人暮らしの割合



友人はいるか



高齢者の一人暮らしが引き起こす問題

①認知症



②孤独死



孤独死 ひとつとじゃない



遺品を整理する作業員。雑然とした部屋には亡き妻の遺影が飾られていた。横浜市

「月上旬、JR横浜駅から近い団地に、作業服に身を包んだ男性がトラックを降りて入った。一見、引越し業者に見える彼らは、不動産会社や遺族から依頼を受け、自宅までひっそりやってきた高齢者の遺品整理を行う「あ

んしネット」(東京)の作業員だ。その整理作業に同行した。団地の一角で「孤独死」したのは86歳の男性。1989年ごろ、できたばかりの団地に妻と同居、海外旅行が趣味の夫婦だったが、18年前に妻を亡くしてから一人暮らしだった。今年1月31日、風呂につかっていたまなこになっていた。民生委員らが見つけた。脳摘出があり、死後約1カ月が経っていたという。2人は、本末が所狭しと敷らばついていた。風呂場に入るも、浴槽に残ったままの水は茶色く変色し、臭い臭いが漂った。合所には中身がなくなっていた。部屋のカレンダーは昨年12月のまま。28日は「4月12日」正月用紙と書かれ、新年を迎えることができなかった。家主を悩ませていると、夫婦が隣近所にも知られぬまま亡くなった。夫婦が住んでいたアパートを訪れた。

一人暮らしの半数「身近な問題」

	とも感じる	まあ感じる	あまり感じない
全体	4.2%	35.6%	44.5%
単身世帯	14.6%	30.8%	27.8%
夫婦二人世帯	3.3%	2.5%	22.7%
それ以外	2.4%	2.4%	44.6%
その他		35.2%	49.9%

核家族化が進み、一人暮らしの高齢者は増えている。昨年、県内で高齢者のみの世帯は約61万戸あり、うち単身世帯は約27万戸だった。団塊の世代が75歳以上になる2025年には高齢者のみの世帯が69万戸、うち33万6千戸が単身世帯になると推計されている。孤立した高齢者が迎える孤独死だが、市町村がすべてを把握できるわけではなく、その実数は明らかになっていない。内閣府の意識調査によると、一人暮らしの高齢者の半数近くが孤独死を身近に感じている。こうした人を分析すると、健康状態が「よい」人は30.2%にとどまる一方、「よくない」人は47.5%と多くなる傾向があった。また、一人暮らしの高齢者を対象にした別の意識調査では、会話を「毎日」している人と、「1カ月に1、2回」の人では1.6倍の開きがあり、会話の頻度も影響するようだ。

1カ月後発見 遺品整理は業者に

75歳以上の高齢者が日本一のスピードで増える埼玉県。後を絶たない孤独死が、独り暮らしの高齢者を支えたい。県社会福祉協議会が、孤独死の現場を追いかけた。75歳以上の高齢者が日本一のスピードで増える埼玉県。後を絶たない孤独死が、独り暮らしの高齢者を支えたい。県社会福祉協議会が、孤独死の現場を追いかけた。

認知症高齢者462万人

厚労省研究班調査 予備群は400万人

65歳以上の高齢者のうち認知症の人は推計15%で、2012年時点で462万人にのぼることが、厚生労働省研究班(代表研究者・朝田隆筑波大教授)の調査でわかった。軽度認知障害(MCI)と呼ばれる「予備群」が約400万人いることも初めてわかった。

調査は、09～12年度、専門医などがいて診断環境が整っている茨城県つくば市など8市町で選んだ高齢者

1985年に行われた前回の全国調査は、本人と家族への聞き取りデータだけ使っていたが、今回は画像診断も併用して国際基準に従って専門医が診断した。

認知症の把握がより正確になり、高齢化が進んだこともあって平均の有病率は85年の6.3%から2倍以上の15%になった。認知症のリスク要因とされる糖尿病など生活習慣病の人が増えたことも背景にあるとみられる。別の厚労省研究班が08年、「2035年には445万人」という推計を出しているが、有病率が85年のもの変わらないと仮定した計算。実際に有病率を調べた今回の結果は、2012年の時点でそれを上回った形となった。

もの忘れ 認知機能の低下は加齢に伴うレベルで、基本的に健康な状態。忘れたことの自覚もある。ものや人の名前が出てこなかったり、食事のメニューを忘れてたりする状態
軽度認知障害 認知機能が年齢相応のレベルより低下しているが、日常生活は基本的に正常に送れる状態。金銭や服薬の管理ができなくなり始める
認知症 社会生活に支障があるレベルで認知機能が低下した状態。できごとすべてを忘れ、忘れたことの自覚もない。金銭や薬の管理ができない。食事をしたこと自体を覚えていない



年齢層別の認知症有病率(%) 厚労省研究班の報告書などから
65歳 69歳 70歳 74歳 75歳 79歳 80歳 84歳 85歳 89歳 90歳 94歳
2012年
1985年

もの忘れ・軽度認知障害・認知症の違い

厚労省研究班は昨年、介護保険の要介護認定をもとに、認知症の人を高齢者の9.5%に当たる305万人と推計している。だが、認知症になっても日常生活は自立している人や、介護保険を利用していない人も多とみられ、「全体像を反映していない」などの指摘も出ていた。今回の結果はその1.5倍に当たり、医療や介護の体制整備が急がれることになる。

①高齢者の増加

②学童児童数・待機児童数の増加



二つの問題を解決できるアイデア！！

A photograph showing a man in a wheelchair on the left, wearing glasses and a light-colored shirt, looking towards a young girl on the right. The girl is wearing a striped shirt and has her hands raised as if in conversation or play. In the center, an elderly woman with short white hair, wearing a brown jacket, is also looking towards the girl with her hands raised. The scene is set in a bright room with a large window in the background showing greenery outside. A semi-transparent white banner with Japanese text is overlaid across the middle of the image.

エデリーラーニングクラブ

エデリーラーニングクラブ (ELC) とは

↓
Elderly(高齢者) ↓ Learning (学ぶこと) ↓ Club(クラブ)



経験や特技・趣味
(例：料理、手芸、
読書、畑仕事など)

児童クラブ
の指導員



仕事をしていない
一人暮らしの高齢者

高齢者と児童のふれあいの場
となるような施設

運用費用

クラブ利用料

年間登録料：2,000円

利用料：600円×利用日数

延長料金：30分毎につき300円

学童指導員（高齢者）の給料

時給800円

開園時間

平日：12時～19時

土・日・祝日及び長期休暇
：8時～19時

高齢者が学童指導員になれば・・・

- 高齢者でしか経験したことのない知識（戦争や子供時代の話など）を子供たちに伝えることができる
- 高齢者が子供たちと交流することにより、高齢者の認知症予防につながる
- 世代間交流により高齢者と子供たちが顔見知りになる

ポイント！

- 薩摩川内市の空き家を利用する
- 放課後だけでなく、子供たちがいつでも来れるようにする
- 学童指導員の高齢者だけでなく、地域の高齢者で集まれるコミュニティの場とする
- 料理体験や畑仕事体験などさまざまなイベントを行う

メリット

- 一人暮らしの高齢者の認知症、孤独死の防止につながる
- 高齢者の雇用を生み出すことができ、生きがいにつながる
- 待機児童数を削減することができる
- 学童指導員の人手不足解消につながる
- 世代間交流により学ぶこと楽しむことができ、地域活性化につながる

エデリーラーニングクラブで 高齢者も児童も地域も活性化！！

